

蕨 広報WARABI 11

2012/平成24年
わらび・736

- 平成24年11月1日発行／発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 10月1日現在人口：72,257人 前月比 -13人
男 36,718人 女 35,539人
世帯数：35,399
人口密度：14,168人/km²



同大会を最後に引退した3年生も集まり、部員39人の奏でる美しいハーモニーが広がる音楽室。来年は、更なる高みを目指して、後輩たちが思いを受け継ぎます



左から学生指揮者の花輪さん、部長の金子さん、副部長の大隅さん

快挙！第二中学校吹奏楽部が 東日本学校吹奏楽大会「銀賞」

10月14日に青森県で開催された、第12回東日本学校吹奏楽大会。小編成バンドにおける最高峰の舞台で、第二中学校吹奏楽部がみごと銀賞に輝きました。3年生にとっては最後の大会。「この仲間たちと一日でも長く演奏を」と、心一つに、部員全員でつかんだ快挙です。

目次

- 私たちにできる救命のリレー… 2
- 小学生防火ポスター展… 4
- 私も地域防災の力に… 6
- リポートそこが知りたい… 8
- 蕨いま むかし… 8
- 親と子のニュースの小窓… 10
- わが家のアイドル… 11
- 輝いてます ひと… 12

特集：私たちにできる救命のリレー



真剣なまなざしで普通救命講習を受ける受講生たち（消防本部）

AED

Automated External Defibrillator

(自動体外式除細動器)



一般の人でも簡単に使えるAED

勇気と行動で救える命があります

もし、家族や友人が突然倒れ、心臓や呼吸が止まってしまったら……。たいせつな命を救うために重要となるのが、救急車到着までの間、そばに居合わせた人によるAED（自動体外式除細動器）の使用や心臓マッサージなどです。今月は、いざというときに私たちができる、AEDを使った応急手当についてご紹介します。

周 囲の人が突然倒れたとき、真っ先に思いつのが119番通報をすることではないでしょうか。しかし、救急車の要請から到着まで全国平均で約8分。心肺停止の場合、1分経過するごとに、生存率が低下していきます（下グラフ）。そのため、生存率を少しでも高めるのに重要となるのが、救急車を待っている間の、その場に居合わせた人によるAEDの使用や心臓マッサージなどの応急手当です。AEDとは、突然、心臓がけいれん（心室細動）を起こし、心肺停止になったとき、心臓に電気ショックを与え、その働きを正常に戻す医療機器のことです。平成16年の制度改正により、私たち一般市民でも使用できるようになり、今では、駅やスーパーマーケット、また、市役所、学校、公民館といった公共施設など市内80か所以上に設置されています。実際、蔵市役所でAEDを使用した例もあります。昨年10月、市民課の窓口を訪れた男性が突然倒れ、心肺停止の状態に……。異変に気づいた遠藤恵さん（下囲み）と市職員数人が連携し、119番通

助けたい一心から夢中で行動

昨年の出来事は、鮮明に覚えています。AEDを使ったのは3回目でしたが、勇気がいることでした。でも、なんとか助けなくては、と気持ちを奮い立たせ、夢中になって応急手当をしました。一命を取り留めることができたそうなので、とっさに行動を起こしてよかったと思います。

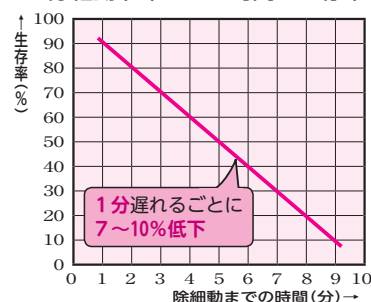


えんどう めぐみ
遠藤 恵さん
中央7丁目

※除細動とは……

心臓がけいれん（心室細動）を起こしている状態を止めるために、電流を流して心臓の働きを正常に戻す方法のこと。AEDを使用した除細動までの時間がかかるほど、生存率は低下していきます。

除細動（※）までの時間と生存率



AHA心臓蘇生救急心臓血管治療のための国際ガイドライン2000から引用

救急車が来るまでの応急手当ってどんなことするの？

ここでは、心臓マッサージやAEDによる電気ショックなど、応急手当の流れをご紹介します。消防本部の普通救命講習では、下図のような実践に即した内容で行っています。



図1 傷病者を発見したら、周囲の状況を確認し、必要に応じて安全な場所へ移す



図2 耳元で大声で呼びかけながら、肩をたたき、反応(意識)を確認



図3 周囲に助けを求め、119番通報とAEDを取りに行ってもらおう、依頼



図6 1回1秒の人工呼吸を2回行う(感染防護具がない場合は、人工呼吸は省略)



図5 重ねた両手で、胸の真ん中を30回(100回/分)連続して、心臓マッサージ



図4 胸や腹部の動きから呼吸の確認。呼吸ありの場合は気道を確保し、救急隊到着を待つ



図7 AEDが到着したら、電源を入れて、音声案内に従い、電極パッドを胸に貼る



図8 電気ショックが必要な場合、誰も傷病者に触れていないか確認し、通電ボタンを押す



図9 電極パッドを貼り付けたまま、救急車到着まで、図5の心臓マッサージを繰り返す

反応なし

呼吸なし

心電図の解析

Check!

より迅速な救急救命活動に
新たな高規格救急車を導入



消防本部は、先月、新たな高規格救急車を更新しました。新車両は、迅速な救急救命活動や多彩な救急資機材の搭載を可能にする広い室内空間になっているほか、車両上部のライトは明るく節電効果の高いLEDを使用しています。消防本部では、今後も救急業務の高度化に備え、市民の皆さんが安心して暮らせるように、万全な体制を整えていきます。

報とAEDによる電気ショックを実施。救急車が到着するまで懸命な応急手当が行われました。その後、病院に搬送された男性は、幸いにも一命を取り留めることができました。遠藤さんたちの迅速で勇気ある行動が、救急隊の救命処置、そして、医療機関での救命医療へとつながり、たいせつな一人の命を救ったのです。ただ、このようなとき、率先して行動したいと思っていなくても、AEDを使える自信がないという人も多いのではないのでしょうか。でも、心配はいりません。AEDには、音声案内と自動診断装置が備わっているため、初めての人も操作ができるようになっていきます。具体的な手順は、AEDの

蓋を開け、電源を入れた後(自動的に電源が入る機種もあり)、音声案内に従って、傷病者の衣服を広げ、電極パッドを胸に貼ります。すると、AEDが自動的に心電図の解析を行い、電気ショックの要否を判断します。そして、必要と判断された場合のみ、通電ボタンを押して、電気ショックを行います(上囲み図7・8)。なお、AEDの使い方詳しく学んでみたいという人は、消防本部で毎週水曜日に実施している、普通救命講習に参加してみませんか。いざというとき、あなたのとっさの勇気と行動で尊い命を救えることがあります。問い合わせ 消防本部警防課 (☎441・0173)

小学生たちが描いた 防火ポスター展

11月9日～15日
秋の火災予防
運動週間



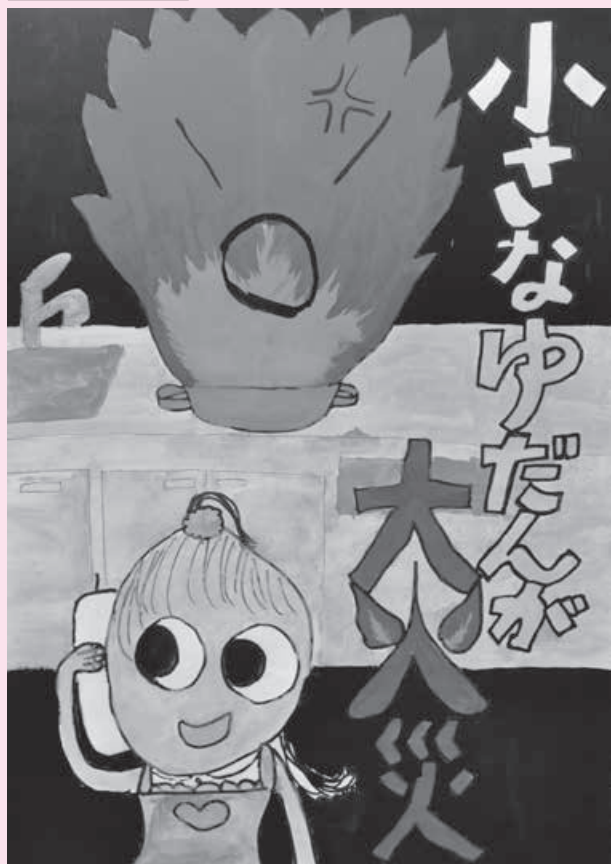
全国統一防火標語

「消すまでは 出ない行かない 離れない」

今月9日から15日までは、秋の全国火災予防運動週間です。消防本部と蕨防火協会では防火ポスター展を開催し、市内全7小学校の児童から294点の応募がありました。ここ4、5ページでは入賞作品の一部をご紹介します。なお、入賞作品は、9日から15日までイトーヨーカドー錦町店(錦町1丁目)で御覧いただけます。

金 賞

低学年の部



「ゆだんしないでね」

料理のお手伝いをしているときの、「火を使っていたら、目を離しちゃだめよ」というお母さんとの会話がヒントになり、このポスターを描いてみました。火の怖さを出そうと、怒っている顔を描いたり、何色にも分けてみたりと、工夫してみました。



いいじま べにお
飯島 紅桜さん
西小学校3年

高学年の部



「火事のない明るい蕨のまち」

もしものときや、火事を起こさないためには、地域で協力することがたいせつだと思います。それを表現しようと、中央に手と手を取り合う絵を描きました。恐ろしい火事が蕨からなくなるように、この作品が少しでも役に立てばいいな、と思います。



たかしま
高島 ひかるさん
中央小学校5年

銀 賞



あらき ひろと
荒木 滉斗さん
中央東小学校 1 年

「ほうちきつけて」

うちには寝る部屋などに火災警報器がついています。まだ、ついていない家もあると知ったので、みんな、安全でいてほしいなと思い、この絵を描いてみました。

低学年の部



高学年の部



もりなが みう
森永 美海さん
北小学校 4 年

「小さな火も注意」

キッチンの小さな火からも大きな火事になる可能性があることを表現しました。炎が目立つように、色は何色も使ったり、逆にその背景を黒で統一したりしました。



銅 賞



こだま けいしろう
児玉 佳史朗さん
南小学校 3 年

「はしご車大好き」

図書館で借りた本を見ながら、大好きな、はしご車が人を助ける様子を描きました。銅賞に選ばれて、うれしいです。

低学年の部



高学年の部



たかはし
高橋 りこさん
中央東小学校 4 年

「火の元確認！」

火事の怖さを表そうと、火が襲ってくるイメージにしてみました。出かけるときは、いつも火の元を確認しています。



住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

◎ 3つの習慣

- ・寝たばこは、絶対やめる
- ・ストーブは、燃えやすい物から離れた位置で使用する
- ・ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

◎ 4つの対策

- ・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
- ・寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する
- ・火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を備える
- ・お年寄りや体の不自由な人を守るため、隣近所の協力体制をつくる

問い合わせ＝消防本部予防課(☎441・0174)

受賞おめでとうございます

【高学年の部】

- ・消防長賞
こうへい らん
公平 嵐さん 北小学校 4 年

- ・防火協会長賞
はら さい き
原 彩貴さん 南小学校 6 年

【低学年の部】

- ・消防長賞
にし お だい こ
西尾 太吾さん 中央東小学校 3 年

- ・防火協会長賞
しもなか かい と
下仲 快和さん 中央小学校 3 年



▲▶安全安心なまちづくりには地域全体での協力が欠かせません。生涯学習フェスティバルでの放水体験など、催しでも積極的な啓発活動を展開しています



駆り立てるのは まちを愛する心



▲▶「訓練でできないことは現場でもできない」と、熱が入る百合さん。同じ分団に所属し、市内に2人だけの女性団員・唐澤靖子さんと、互いに切磋琢磨しています。現在、第1分団には18人が在籍し、分団長の国雄さんを中心に固い団結力で活動に当たっています



南雲 百合さん 事務・35歳

父から
娘へ

娘から
父へ

入団から2年半。まだまだできることは少ないけど、おとうみたいに地域の皆さんの笑顔を守れる団員になりたいな。これからいろんなことを教えてね。

親としては心配もするけど、男性にも負けずにがんばる百合は、お父さんの誇りだよ。受け継いだ経験や思いを、更に次の世代に伝える存在になってほしい。



南雲 国雄さん 自営業・66歳



Fire
Volunteer
Corps

私も地域防災の力に 女性消防団員の活躍 父から娘へと受け継がれる思い



幼い頃、父とともに

一 昨年誕生した、蕨市初の女性消防団員。その一人、南雲百合さんに向け、叱咤激励するのは、消防団第1分団長・南雲国雄さんです。そう、2人は親子なのです。幼い頃から、消防団員として活躍する父を見て育った百合さんは、いつからか、その雄姿に自分を重ねるようになりました。そして、第1分団に入団。仕事の合間を縫っての訓練のほか、地域の防災意識の啓発などにも取り組み、火災時には現場にも出動します。ともに活動し、指揮を執る父の背中を夢中で追いかけるうちに百合さんがあらためて気づいたこと。それは、家族や仲間のため。そして、その絆から生まれた「自分たちのまちは自分たちで守る」という父の信念を引き継ぎたいと切望する、自らの思いに――

依頼会員も随時受付中



レポート そこが知りたい

〈84〉

託児の有償ボランティア 子育て経験を地域で生かしませんか

地域で子育てを支え合う、わらびファミリー・サポート・センターでは、子どもの一時預かりや保育施設への送迎などをお手伝いしてくれる提供会員を募集しています。少しの時間、できることでかまいません。皆さんの力をお貸しください。

在住の20歳からおおむね70歳までの健康で子ども好きな人です。活動は、午前7時から午後8時までを基本とし、1人の子どもの預かる場合、1時間700円の報酬が、依頼会員から提供会員へ支払われます(下囲み参照)。

平成17年8月から始まった同事業。保育施設への送迎や終了後の預かりなど、年間約2500件の利用があり、支援の輪が広がっています。

でも、実はちょっと困ったことがあります。それは、子どもを預かってくれる提供会員が不足しているのです。10月25日現在、依頼会員が333人なのに対し、提供会員は、その3分の1の99人。会員数が伸び悩む背景に、よその子を預かることへの不安が見え隠れします。

地域で子育てを支え合う「ファミサポ」

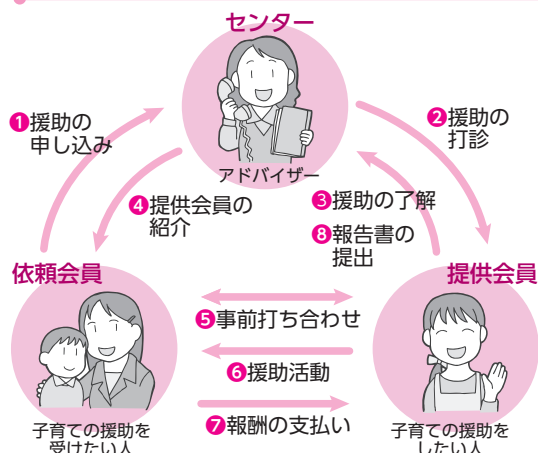
わらびファミリー・サポート・センターは、子どもを預けたい人(以下：依頼会員)と預かる人(以下：提供会員)と預かる人(以下：提供会員)のネットワークを作り、地域で子育てを支え合う会員組織です。会員資格は、依頼会員が市内在住で生後6か月から小学生までの子の保護者。提供会員は市内

無理のない形で参加 サポート体制も万全

ファミサポは、子どもを預ける人も、預かる人も、お互いが協力し合い、地域で子育てを支え合うのが趣旨です。依頼会員

は、「預かる人は地域のボランティア」ということを理解した上で利用しています。一方、提供会員、両方会員(依頼・提供会員を兼ねる人)になる皆さんには、事故のないように、必ず講習会を受講し

わらびファミリー・サポート・センター 利用の流れ



問い合わせ＝蕨市社会福祉協議会内・同センター(錦町3-3-27 ☎443・1800 Eメール w-famisapo@warabi.ne.jp)

てから活動を始めたいだいています。また、初めて預かる子どもについては、アドバイザーといっしょに事前打ち合わせを行うので安心です。回を重ねる度に、信頼関係ができ、皆さんいきいきと活動しています。保育施設や習い事などの送迎だけでもかまいません。空いている時間、できることから始めてみませんか。

ファミサポの魅力は やりがいと地域の絆

「孫ができたみたい」、「無邪気な笑顔に癒やされる」。提供会員の皆さんから寄せられた声です。また、依頼会員にとって提供会員の皆さんの存在は、子育ての不安を安心に変える、地域の心強いサポーターなのです。

ファミサポは、援助活動だけでなく、クリスマス会など、会員どうしの交流会を定期的に開催して親睦を深めています。子どもが大好きなかた、ぜひご参加ください。きっと、地域に新たな出会いが生まれ、笑顔の輪も広がっていきます。

蕨 いま むかし

園芸祭



たかはしけいすけ
高橋慶助さん
塚越3丁目・75歳

市内農家で組織する蕨市園芸緑化研究会が、毎年秋に大規模な直売を行う園芸祭。丹精こめて作った農作物を直接市民の皆さんに届けたいと、昭和52年から始まりました。昔の写真は、その第一回目。和楽備神社境内には、ダイコンや長ネギ、カブなど旬の野菜を買い求める人であふれ、市役所通りまで行列が出来るほどでした。私たち農家は作物を作るのに一生懸命で、客商売は不慣れ。野菜は飛ぶように売れましたが、もう、てんやわんやでしたね。でも、お客さんの喜ぶ顔を見ると、いい物を作ろうと気持ち新たにしました。

情報ダイヤル

掲載は無料です
秘書広報課 (☎433・7703)

〔仲間になりませんか〕

▶ **CANDDY** (幼児英会話教室) 木曜日 午後4時半 北町公民館 月1,800~2,000円 3~5歳<金子・☎090・7840・9317>

▶ **南囲碁クラブ** 火曜日 午前9時半 南公民館 無料<井上・☎442・0259>

▶ **蕨北町サッカースポーツ少年団** 土・日曜日・祝日 北小学校 月1,500~2,000円 (未就学児は年間1,000円) 年中~小学生<小泉・☎090・4948・5936>

▶ **楊名時** (太極拳) 土曜日 午後2時半 蕨駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4,500円<浦島・☎224・5915>

▶ **実用書道クラブ** 第1・3火曜日 午後1時半 下蕨公民館 月2,000円 (教材費別)<高橋・☎432・3280>

▶ **Ka Pua Hau** (フラダンス) 第1・3火曜日 午前10時半 下蕨公民館 月2,000円<佐久間・☎090・8313・4897>

▶ **蕨市南剣道クラブ** 火曜日=午後6時半 土曜日=午後6時 南小学校 月2,000円 (未就学児は500円) 年長~小学生<沼野井・☎442・1787>

▶ **児童合唱団「野うさぎ」** 土曜日 午後4時 南公民館 月3,500円 幼児~中学生<近藤・☎080・5375・5659>

▶ **3B-SOL** (3B体操) 金曜日 午前10時 下蕨公民館<北町公民館 1回500円 成人<鎌田・☎090・4753・1958>

▶ **和楽備ラジオ体操絆の会** 月・水・金曜日 午前6時20分 城址公園 雨天中止<平田・☎444・2222>

〔参加しませんか〕

▶ **太極拳泉** (初心者講習会) 12月7日・14日・21日 午後2時 長泉院 無料<浅賀・☎431・7125>

▶ **日帰り旅倶楽部** 1月12日 開運・港七福神と麻布十番商店街巡り 1,000円 説明会あり<岩本・☎090・3431・4295>

▶ **ダンスパーティー** 1日・24日・29日 午後1時 文化ホールくるる 499円<犬塚・☎441・7373>

〔ご相談ください〕

▶ **蕨断酒会** (酒害相談) 6日=中央公民館 14日=南公民館 22日=旭町公民館 午後7時<岡田・☎441・3172>

まちの話題

生涯学習に励む皆さんが集う、生涯学習フェスティバルが市内7地区で開かれています。南町地区では、10月6日、7日に南公民館を主会場に開催。作品展や、地域の歴史を振り返る座談会などを通して、訪れた1800人は、生涯学習への関心と学びを大いに深めました。

10月11日、地域子育て支援センターこっこの運動会が市民体育館で開かれました。北町地区民生委員・児童委員のご協力の下、乳幼児の親子50組はかけっこや親子競技など、運動会の雰囲気満喫。地域の皆さんとも交流を深めながらスポーツの秋を楽しみました。

「蕨・独リンデン市民交流協会」を中心に、30年以上交流があり、蕨市と友好交流の盟約締結から10年となるドイツ・リンデン市。10月14日から27日まで同市民29人が来日し、復興支援の義援金を送った宮城県山元町への訪問や歓迎会、そば打ちなどで交流を深めました。

10月17日、市民会館で、「蕨市戦没者追悼式」が執り行われました。式典には、遺族の皆さんなど、261人が参列。先の大戦で尊い命を落とされたかたがたに黙祷をささげたほか、献花台に花を供えるなど、戦没者の冥福を祈りながら恒久平和への思いを新たにしました。

蕨市交通安全対策協議会と蕨市は、安全で安心なまちづくりの推進のため、10月19日、蕨駅周辺で防犯・放置自転車クリーニングキャンペーンを実施。参加者110人は通行人に啓発品を配りながら、自転車の利用マナーの向上やひったくり被害の防止などを呼びかけました。

学び深める地域の祭り



盛況！こっこの運動会



独リンデン市民が来蕨



遺族らが戦没者を追悼



安全なまちへ街頭啓発



昔も今も人気の野菜は、お店では珍しいズイキ。煮物にするとうまいんですよ。野菜の調理法など、お客さんとの会話も、私たちの楽しみの一つです。今年今の写真は、10月19日、20日に開催し、サトイモなど50品目を出荷。延べ363人が訪れました。

今月4日は健康まつり 見つめませんか あなたの生活習慣

保健センターでは、健康相談や講座などを定期的で開催し、皆さんの健康づくりを支援しています。また、今月4日に開かれる「わらび健康まつり」では、さまざまな測定や相談コーナーがあり、生活習慣を見直すよい機会です。ぜひ、ご来場ください。

親と子の ニュースの 小窓



体感ください気軽に楽しく健康づくり

お母さん おじいちゃん、最近体の調子よさそうね。
じいちゃん ああ、適度な運動と食事のたまものだな。「わらび健康まつり」で、身体年齢を測定するのが楽しみだ。
ワラビ 健康まつり？
お母さん 今月4日に市民体育館で開催される、気軽に楽しく健康づくりが体感できる催しよ。毎年1500人以上もの市民が参加しているわ。
ワラビ へえ、どんなことをするの？
じいちゃん 体脂肪や骨密度などいろんな測定が
あなたに合った健康づくりをサポート
お父さん 健康づくりか。分かっちゃいるけど、取り組めないんだよね。
ワラビ そういえば最近、少し太ったんじゃない？
お父さん 食欲が止まらないんだよ。
じいちゃん 暴饮暴食はよくないぞ。野菜を多めに、腹8分目にしないと。
お母さん 保健センター
できるほか、音楽に合わせての「健康密度アップ隊操」やカンフー体操など、気軽にできる運動の体験コーナーもある。
お母さん 測定だけじゃなく、薬や食事、介護などの相談もできるしね。
ワラビ へえ、健康に関する一大イベントだね。
お母さん 「歯ッピーわらび」も同時開催で、歯科健診やフッ素塗布（小学生以下）などが行われるから、ワラビもぜひ行ってらっしゃい。
ワラビ はーい、お祭りは午前10時からだね。



成人健康・栄養相談は毎月1回開催 今月は16日

約不要だから、気軽に利用しやすいんだよ。利用者の中には、健診データの見方を教えてもらって人もいますよ。
お母さん 健診データって意外と難しいものね。
じいちゃん あとはこれ。
ワラビ 健康手帳？
じいちゃん センターで配布のこの手帳に、健康管理の記録や教わったことなどをメモしてるんだ。
ワラビ へえ、便利だね。
じいちゃん 他にも、センターでは「こころの健康相談」やさまざまな健康講座を定期的に開くなど、市民の健康づくりを応援してるんだよ。
ワラビ 健康づくりには一人ひとりの意識が大事ってことだね。お父さんもがんばって。

問い合わせ〓保健センター
(☎431・5590)



ほっと・エッセイ 55

なでしこジャパン
佐々木監督が蕨で講演会
市長 頼高英雄

夏のロンドンオリンピックでみごと銀メダルを獲得した女子サッカーなでしこジャパンの佐々木監督が、蕨で講演していただけることになりました。佐々木監督は、小学4年生のとき、蕨に越して来られ、5年生までの2年間、東小学校に通いました。そこで、サッカーと出会い、サッカーに夢中になったそうです。そして、蕨での思い出を新聞のインタビュー

などいろいろな機会に語ってくれています。あれほど活躍している佐々木監督が、今でも蕨での思い出をたいせつにし、語ってくれていることを、私はたいへんうれしく思いました。

外国選手と比べて体格に劣るなでしこジャパンの選手たちが、団結し、泥臭く最後まで諦めず、勝利を目指して必死にプレーする姿は、日本中に大きな感動を呼びました。しかも、たいへんなプレッシャーがあるなかで、みごとに結果を出したのです。そのなでしこジャパンを率いた佐々木監督が「夢と出会いを力に！蕨で出会ったサッカー」と題して講演してくれるのです。今からたいへん楽しみです。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。
今月は1日、12月は6日です。
時間は午後1時～5時を予定
しています。

ご希望のかたは秘書広報課
(☎433・7701) へ



子どもクラブ 頭と体で楽しむ大型将棋

錦町児童館

錦町児童館で、人気上昇中の「ジャンボ将棋」。その名のとおり、92センチ×98センチ、通常の約9倍の、大きな将棋盤です。地域のかたが製作してくれたこの木製の将棋盤は、身を乗り出さないと敵陣まで届かないため、頭だけでなく体も動かしながら、対局を楽しむことができます。初めは指し方を知らなかった子も、経験のある友達に教えてもらいうちに、「思い切り腕を伸ばして『王手』と、声を上げる瞬間がたまらない」と、にっこり。館内には今日も、ジャンボ将棋盤を囲んだ子どもたちの笑い声が響きます。

「空澄は大のバパっ子で毎日べったり。そんな空澄の楽しみは、夫が帰宅すると始まるサッカーの時間です。お兄ちゃんたちに交じって、『きやつきゃつ』と声を上げながら、うれしそうに後を追いかけています。歩け

るようになったのが遅く、みんなが楽しそうに遊ぶのを羨ましそうに眺めていた空澄。今では、そんな姿がうそのようで、夫も成長に目を細めています。いつも笑顔の空澄は、家族を癒やしてくれる存在です」と母親の裕美さん。



わが家のアイドル

と
空澄ちゃん
(1歳5か月)

小林 幹太さん
裕美さんの
三男
北町5丁目

—487—

か 活性酸素

通常の呼吸により、体内で活性酸素が作られます。活性酸素は、殺菌作用などたいせつな働きがありますが、過剰になると

DE かるた アンチエイジング



蕨市立病院
柴田 優子 医師

老化の原因(酸化)につながります。体内では、これに抵抗するためのしくみ、「抗酸化機能」が働いています。更には、ウォーキングなどの有酸素運動で抗酸化力を高めることと、抗酸化食品を取り入れたバランスのよい食事を摂取することが有効です。アンチエイジング外来では、一人ひとりで異なる酸化度や抗酸化力を測定し、さびに負けない体作りをアドバイスします。柴田医師のアンチエイジング外来は金曜日午後。詳細は市立病院ホームページで

新舞踊「美藤流ひろかづ会」

輝いています

ひと

たけ つな なつ ほ
竹綱 夏帆 さん

まっすぐな気持ちを胸に



踊りは気持ちが伝わるように

和

装に身を包み、演歌や歌謡曲に乗せて、扇子や刀をかざしながら、華麗に舞う新舞踊。北町公民館で活動する「美藤流ひろかづ会」で、日々稽古に励むのは、高校2年生の竹綱夏帆さん（16歳・北町5丁目）です。

「新舞踊ってなに…。友達によく聞かれてしまうんです」と、若い世代にはあまりなじみのない新舞踊の世界。竹綱さんが、そんな新舞踊と出会ったのは、小学5年生のときです。指導者でもある祖母の稽古場に顔を出し、見よう見まねで踊りを楽しんでいるうちに、自然とその魅力に引き込まれていきました。

それから7年。祖母の指導

の下、芸の道を歩み続ける竹綱さん。「踊りにはその人の心が現れる」との教えを胸に、見る人に気持ちが伝わるようにと、歌詞に感情をこめ、体の動作や目線の流れを常に意識しながら、ひたむきに稽古に打ち込んできました。

最近では、6月に戸田市文化会館で行われた「第58回美藤流合同舞踊発表会」で、人生初の男舞いに挑戦。はかま姿で力強い殺陣を披露するなど、芸の幅をいっそう広げています。

踊りを通して、「人と触れ合うことのたいせつさを感じている」と、竹綱さん。同会で定期的に行う福祉施設への慰問活動で、演技後、入所者のかたが竹綱さんの手を取り、涙ながらに感謝の言葉を伝えてくれたことは、今でも胸に残っています。将来は看護師として人の役に立ちたい。そんな自身の目標も活動を通して見つけることができました。

現在は、今月11日に行われる、北町地区生涯学習フェスティバルでの発表に向けて、稽古を重ねる竹綱さん。披露する演曲は、夏川りみさんの『花』です。この先も一輪の花のように美しく、そしてまっすぐに、芸の道と自身の目標に向かって歩み続けます。



先月14日の和楽備神社例大祭の日、歴史民俗資料館周辺に8町会9基のみこしが集いました。宿場開設400年を祝い、地域のみこしが連合で、中山道から和楽備神社へと宮入りするためです。そんな多くの担ぎ手が見守るなかで、披露されたのが「蔵宿開設四百年記念碑」です。

記念碑の建立は、記念事業の中心事業の一つでした。事業を企画している蔵宿開設400年記念事業特別委員会（岡田正臣委員長）では、400年受け継

中仙道蔵宿

400周年

叶う道の碑

No.7



蔵宿開設四百年記念碑除幕式（10月14日）

がれてきた宿場の歴史と文化に感謝し、継承と発展の象徴として、「来て・見て・楽しめるまち」をコンセプトに、1月から検討を重ねてきました。

こうして、この度お披露目されたのが、「叶う道の碑」です。高さ130センチ・幅60センチの石碑は、草鞋のレリーフを自分自身に見立て、その上の素通しの部分を人生で出会う道として表現。草鞋をなでて祈願することで、習い事や困難、修練の道などが成就する趣向です。石碑は、長い年月をかけて人の手が触れると、艶が出て、より味わい深くなるそうです。「受験生や就職活動中の学生さん、ぜひ立ち寄って祈願してください」と、特別委員会の皆さん。

次の時代へとつなぐ櫓がここに誕生しました。